

理論と実践

人間本来の能力の再獲得、そして人間性の回復をめざして

ウェットスーツなしで潜水する能力を人間は潜在能力としてもっている。科学技術の発展にともない、現代人は活動範囲を拡張してきた一方で、能力を機械に依存することによって人間自身の感覚的能力を弱め、失ってきた。暑さ・寒さを否定して快適を求めるのではなく、それを豊かさ、贅沢なものとしてとらえなおすこと。むしろ暑さ・寒さを楽しむことができるまで人間の許容能力を上げていく、そのためのオフィス空間・住空間が求められるべきなのである。膨大なコストをかけてかえって失ってしまったものの大きさを今、再確認し、再獲得に向けて行動しなければならない。

グリーンビルディング協会の目的と活動

グリーンビルディング協会は1993年にアメリカで設立され、建物に関する幅広い業界の参加により、環境問題への理解を広げながら、よい商品の開発やスタンダード作成を通じて、会員の企業繁栄に寄与している。PES建築環境設計の代表である石黒隆敏によって1998年3月に設立されたのが日本グリーンビルディング協会である。

日本グリーンビルディング協会はアメリカの例を参考に、日本の実情に合わせて設立された。グリーンビルディングとは「環境により建物づくり」を意味するが、その目標は地球環境保護、環境への負荷削減の観点からあらゆる人間の活動を見直すことによって究極の目標としての人間性の回復をめざしつつ経済的な利益をあげることにある。

さまざまな要素がからみあい、複雑で多様性をもった地球環境の問題に対応するためには、異なる分野の専門家による分析、そして

総合的な思考と的確な判断に基づいた行動が必要である。行政関係者をはじめ、計画・設計者はもちろん、オーナー、エンジニア、建設業者、地元住民、環境・材料・その他コンサルタント、生物学者、環境団体、そして資金調達に関わる金融機関など、その開発に関わるさまざまな種類の人々のネットワークをつくり、最終利用者における恩恵・利益が最小のコストで実行されることを目的として計画を進めることによって、建築物の最終利用者にとっての経済的繁栄をもたらす。自然環境への負荷削減は企業にとって直接的なコストダウンにつながるだけではない。一方的に自然を搾取してきた従来の資源消費型の社会から経済と自然の営みの調和への移行。生命そのものの持つ多様性を引き出すこと。理想的なエネルギーの循環は次世代の地球環境に生きるあらゆる共同体にとって望ましいだけでなく、新たな需要を生み出し、経済的な繁栄をもたらすにちがいない。

地球環境に配慮した建物をグリーンビルディング、その開発をグリーンディベロップメントと呼ぶ

自然環境への負荷削減は企業にとって直接的なコストダウンにつながる

…多くのグリーンビルディングへの試みは、どれも夢多く情熱にあふれ、挑戦的で若々しいものであった。これらを何とか日本に紹介できないものかと思いをめぐらせながら、いくつかの実例に実際にめぐりあいたいとアメリカを旅しているうちに、このような実例をとりまとめた一冊の本が発刊されると聞き及び、手に入れる興奮のときを待たずして待っていた。

本書は、地球環境に良いコミュニティづくりをめざしたグリーンディベロッパーたちが、どのように構想し、地域のどのような人々の参加協力を得て、現行規制を突破し、資金調達を潤滑にし、建設完成にいたったか。その過程と経済的効果を80の実例で各々のストーリーとして紹介したものである。発行者であるロッキーマウンテン研究所は資源効率、すなわち地球の安全保障への道を目的に、市民、市場、企業等、最終利用者に情報を知らせることが、環境の問題をより早く、より確かに解決する方法であると信じてその活動を広げている。地球環境に配慮した建物をグリーンビルディ

ング、その開発をグリーンディベロップメントと呼んで紹介し、その事例は研究施設を含む公的建物、工場、オフィスビル、ホテル、住宅開発、店舗、複合用途、そしてデモンストラーション用住宅の大きく八つに分けられ、12の各章のテーマから眺めて個々の事例をその開発プロセスの流れで捉え、分析評価し、記述している。とくにグリーン開発の実現のための戦略としての計画チームづくり (Team Work) や、その実現過程における手法、資金調達、マーケティングに関する内容はきわめて有用なものと考えられる。

本書は広く、開発関係者、建築家、エンジニア、計画者、建設業者、不動産オーナー、研究者、行政担当者をはじめ、環境を気づかい、希望ある未来を願う多くの良識ある読者を満足させるものと確信している。そして地球環境をより良くするための開発とは何かを考える時の、新しい視点を与える座右の書となるだろう。

訳者まえがきより



ロッキーマウンテン研究所編
石黒隆敏監訳
「グリーンディベロップメント」
GREEN DEVELOPMENT (John Wiley
& Sons Inc.) 丸善